

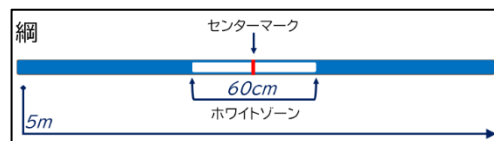
雪上 3 本綱引きについて

向かい合った2チームが、3本の綱のうち2本以上自チームのゴールラインまで引きこんで勝敗を競う。

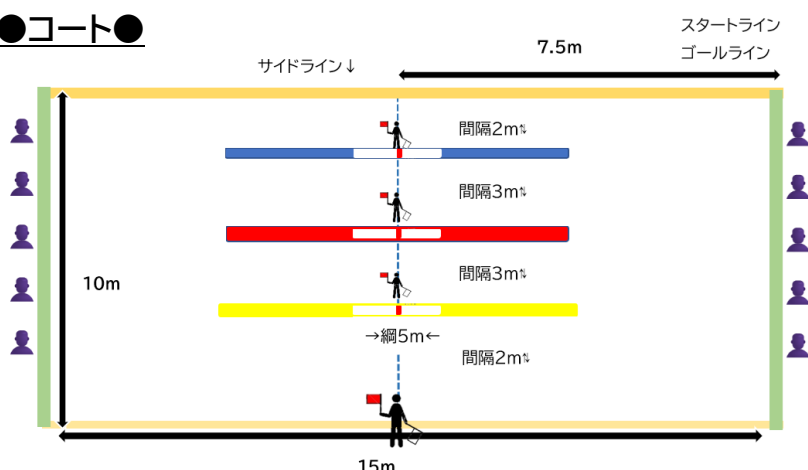
競技規則

●ルール●

- ①使用する綱は5mで、綱の中心は赤色の「センターマーク」とし、センターマークの左右 30cmを両チーム触れてはいけない白色の「ホワイトゾーン」とする。
- ②両チーム 5 人ずつ、それぞれのゴールラインに整列し、「位置について」～「用意」では、完全に停止、スターターの笛の合図でスタートし、3本の綱を自チームのゴールラインまで引き込む。
- ③3本の綱にはそれぞれ審判員がつき、センターマークがゴールラインに到達した時点で勝利チーム側の旗をあげる。各セット 3 本のうち 2 本以上旗が上がったチームを勝ちとする。時間内に勝敗がつかない綱(センターマークがどちらのゴールラインにも到達してない)については、センターマークをより自チームまで引き込んだチーム側に旗があがる。
- ④1 試合 3 セットのうち、2 セット先取したチームの勝利とし、1 セットの時間は30 秒とする。
- ⑤1 勝 1 敗で3チームが同率の場合は、得失セット率で順位を決め、得失セット率も同じ場合は、代表者のくじ引きで決勝進出チームを決定する。
- ⑥競技は 5 人 1 組で行う。当日の受付までエントリー変更は可とする。またチームの都合により 4 人以下の場合でも試合参加を認める。
- ⑦その他、記載のない事項については、主審の決定を最終決定とする。



●コート●



●反則●

- ・「綱のホワイトゾーンを持つこと」
- ・「綱をゴールラインへ投げ入れること」はその綱は相手チームの綱とする。
- ・「1 人が同時に 2 本以上の綱に触れること」
- ・「フライングを 2 回繰り返すこと」はそのセットは相手チームの勝利とする。

●服装や靴●

- ・手袋と帽子またはヘルメットを必ず着用する。(ヘルメットは主催者が用意したものを使用する。)
- ・靴は靴底にスパイクがついているものは禁止とする。(例)野球スパイク、陸上スパイク

競技方法

●予選リーグ●

- ・ジュニアの部と一般の部、各部門最大 12 チームで戦う。
- ・1グループ 3 チームの総当たり戦を行う。組み合わせは、事前に主催者が抽選し、決定する。
- ・各ブロック1位のみが、決勝トーナメントに進出とする。

●決勝トーナメント●

- ・4 チームのトーナメント戦を行う。組み合わせは全予選終了後、代表者による抽選で決定する。
- ・3 位決定戦は実施しない。

表彰

- ・優勝・準優勝・3位(準決勝敗退2チーム)を入賞とし、賞状、賞品を贈る。
- ただし、参加チーム数が6チーム以下の場合は優勝、準優勝のみ入賞とする。

注意)※参加チーム数によっては、予選方法と決勝方法を変更する場合があります。